

『プラチナフォトン®』ご愛用者 池谷幸雄さんインタビュー



ソウルオリンピック、バルセロナオリンピックで合計4個ものメダルを獲得。

現在は、体操教室の運営や全国の各種イベント開催を通じて、

人々の健康の増進をサポートしています。

そんな「身体を知り尽くした」池谷幸雄さんが、体操にかける想いと

『プラチナフォトン®』との出会いを語ってくださいました。

**悩んでいた腰痛が解消！
気付いたら、つらかった長距離移動
が楽になっていた**

全国のイベントに講師として呼んでいただけたり、指導している体操選手の大会へ同行する機会が多くなってきたことはとてもありがたいのですが、長距離の移動が増えたせいで、現役時代に故障した腰の痛みに悩むことが多くなっていました。

そんなある日、知人から「疲れに効くから」と『プラチナフォトン®』のネックレスを紹介されました。「長距離移動中にマッサージを受けるわけにはいかないけど、これなら付けてられるでしょう」って。半信半疑で使い始めたのが『プラチナフォトン®』との出会いです。着用してから、長年悩みのタネだった腰痛が軽くなり、増えている遠方への移動が、嘘みたいに楽に感じられるようになったんです。

知人から『プラチナフォトン®』は、「血中の乳酸（疲労物質）の量を減らす働きがある」と効いて、『プラチナフォトン®』の効果だと納得。今では移動中だけでなく、運動中も！ 入浴中以外はずっと身につけています。



子どもたち用の『プラチナフォトン®』
ブレスレットの着用を推奨する池谷氏。
11月の全日本体操競技選手権では、生徒の村上茉愛選手が「女子ゆか」で、
1位に輝いた

**イキイキと動く子どもたちに、
僕が驚いた！**

平成13年に、念願の「池谷幸雄体操俱楽部」を設立して、今も1,000人以上の未来のオリンピック選手のたまごたちを指導しています。みんなよく動くし、身体を動かしていれば温まるものです。でも、中には冷え性体质というか、末端が冷えて動きが硬くなっていたり、そのせいか思い切った演技ができない子どももいることに気がつきました。



そこで、子どもたち用に『プラチナフォトン®』のブレスレットを開発していただき、子どもたちにも着用をすすめてみたんです。簡単なことで子どもたちの体质改善につながるなら……と思ってのことです。

そしたらびっくり！ 血行が良くなり、身体の先端が硬くならなくなったり、イキイキと演技をする子どもの姿が……。

動きがスムーズになることで、こんなに自身を持って演技ができるのか、と驚かされた瞬間でした。

**身体を動かす機会の少ない人にこそ、
すすめたい**

僕は普段、体操教室での生徒の指導や、全国の体操イベントに呼んでいただいて活動をする機会が多いんです。どんな年齢の、

どんな環境の人でも、身体を動かすこと、イキイキと健康な生活をおくるってほしい——それが僕の願いです。

ただ、みんながマメに身体を動かせるわけではないですよね。身体を動かす機会が少ない知人には、『プラチナフォトン®』を積極的にすすめています。「疲れが残らなくなった」「肩こりが軽くなった」と本当に喜んでいただいているんですよ。

今では、「マルチペアトップ」や、ソポーター各種までご愛用いただいている池谷氏。

僕は体操という手段で、全国の皆さんの健康をサポートします。その僕の健康を支えてくれる『プラチナフォトン®』は、これからもずっと手放せないパートナーだと思います。



■プロフィール 池谷幸雄(いけたに・ゆきお)

1970年東京生まれ。18歳のときに、はじめてソウルオリンピックに出場し、団体と個人ゆか種目で銅メダルを獲得。続くバルセロナオリンピックでは、団体の銅メダルとあわせて、個人ゆか種目で銀メダルを獲得した。

引退後は、親しみやすいキャラクターが人気となり、一躍ブレイク。タレントやコメンテーターとしても幅広く活躍している。平成13年、念願だった「池谷幸雄体操俱楽部」を設立。その後、全国に5校まで拡大し、未来のオリンピック選手育成に力を注いでいる。